



東京都立鹿本学園 学校通信 令和8年9月10日号

東京都立鹿本学園

校長 堀江 浩子

東京都江戸川区本一色2-24-11

電話 03-3653-7355

学びの虹

臨時休校や下校の判断について(追加事項)

～雨の降り方(線状降水帯等)で判断がかわります～

熊本地震をはじめ、近年頻発する豪雨災害や河川の氾濫等により被災された地域の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。また、被災地の一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

本校では、災害から児童・生徒の命を守ることを最優先に、防災教育や避難訓練等の取組を強化しております。8月25日には、江戸川区と協働で福祉避難所設営訓練と同時に拡大防災訓練を実施しました。

保護者の皆様も指定されている避難場所(本校ではありません)の確認や区の防災アプリ等での情報収集等、「家族の命を守る」準備を進めていただけると幸いです。今後、大きな自然災害等に見舞われた時、本校の学校スタッフも「被災者」であり、「児童・生徒の命を守る」と同時に「家族の命を守る」立場であることも御理解いただきますようよろしくお願いいたします。

さて、6月23日発行の「学びの虹」において、台風・大雨の場合の「臨時休校の判断基準」について示しました。本校は基本「学校は通常どおり」とし「休む・休まない」の判断は御家庭判断にさせていただいております。(欠席や遅刻扱いにしません)また、臨時休校の判断も示しております。

ただし、突然、登校時における線状降水帯による豪雨災害(浸水・冠水・河川の氾濫等)が見舞われた場合の想定を明記していなかったため、表を見やすくし追記させていただきました。なお、今後も更新する可能性もあるので「暫定版」にしています。御承知おきください。なお、雨の強さ等も参考資料として添付しました。

今後は臨時休校の判断の時期(当日か前日か)もPTA役員の皆様及び保護者のお考えを集約し、参考にしたいと考えます。御理解及び御協力をお願いいたします。

項目	台風	線状降水帯
学校の予測	- 進路や接近時期がわかりやすい - 数日前から判断が絞ることが可 - 給食やスクールバスへの対応・施設への対策・保護者や放デイへの連絡がしやすい	- 発生場所や継続時間の予測が困難(関東で線状降水帯の発生と発表があれば対策を立てる必要がある) - 直前まで状況確認が必要 - 迅速な対応・対策・連絡が必須
判断時期	数日前から情報を収集し、休校や登下校時刻の変更を段階的に検討	前日から当日にかけて、最新情報をもとに迅速に判断
主な判断材料	- 台風情報、暴風・大雨等の警報、交通機関の計画運休、道路状況 - 学校スタッフ・運転手添乗員・調理員の出勤状況	- 線状降水帯の半日前・直前予測、大雨警報、キキクル、区の防災避難情報 - 学校スタッフ・運転手添乗員・調理員の出勤状況
主な危険	暴風による飛来物・倒木、高潮、大雨、公共交通機関の乱れなどに注意が必要。	短時間の猛烈な雨により、浸水、河川氾濫、土砂災害、道路冠水が急激に発生するおそれがある。
休校判断の特徴	広域で影響が出るため、一律の休校判断や早めの周知を行いやすい。	地域差が大きく、危険度が急上昇する可能性を踏まえて、局地的かつ早めの判断が求められる。

鹿本学園校長 堀江 浩子

～第2回拡大危機管理委員会開催～

8月25日（火）に第2回拡大危機管理委員会を開催いたしました。江戸川区危機管理部職員の方や福祉部職員の方と連携した訓練を実施し、「児童・生徒連絡班」「施設・物資班」「食糧班」「救護班」「避難所支援班」「経営企画室」「福祉避難所対応班」の7つの班に分かれ、各班が本部と連携を取りながら訓練を実施いたしました。今回の訓練では、災害時用トイレの設置と衛生面を意識した動線の設定と汚物の廃棄場所の確認を重点的に行いました。

福祉避難所対応班



江戸川区と連携

災害時用トイレの設置訓練



トイレの動線に衛生用マットを設置



学校危機管理委員会担当 生活指導主任 足立 正治

～知的障害教育部門中学部 作業学習カフェについて～

知的障害教育部門中学部の作業学習カフェ班「Café Drip（カフェドリップ）」が、今年度もオープンします。10月21日（水）より、保護者の皆様にもご来店いただけます。

カフェ班では、接客や会計、飲み物の提供などの活動を通して、お客様との関わり方や働くために必要な力を学んでいます。生徒たちは「また来たい」と思っていただけのお店を目指し、笑顔でのあいさつや丁寧な接客、心を込めたサービスの練習に励んでいます。

今年度も、社会福祉法人江戸川菜の花の会が運営する就労支援施設「Hiwa Hiwa（ヒヴァヒヴァ）」の皆様にご協力いただき、焙煎されたコーヒー豆を使用した挽きたてコーヒーを提供いたします。注文を受けてから一杯ずつ丁寧にドリップしたコーヒーをお楽しみください。

活動を通して生徒たちは、お客様からの「ありがとう」や「おいしかったよ」という言葉を励みに、自信や働く喜びを育んでいます。保護者の皆様との交流の場にもなっていますので、ぜひお気軽にお立ち寄りください。



○営業時間：毎週水曜日 10:30～11:20（11:15オーダーストップ）

○場所：N棟1階 多目的ホール ※予約制ではありません

～皆様のご来店を、生徒・教員一同心よりお待ちしております。～

知的障害教育部門中学部作業（カフェ） 担当 満井 友加里



～読書推進月間について～

本校では、毎年読書週間の前後1か月に当たる10月～11月を読書推進月間として設定しています。この期間中は次のような内容で児童・生徒の読書活動推進を図っています。

- ①全校の児童・生徒に「読書カード」を配布し、本を借りるごとにシールを貼ります。
- ②読書推進月間にたくさんの図書を借りた児童・生徒を2学期終業式内で表彰します。
- ③教職員による図書紹介及び新着本の展示を行います。
- ④外部専門員を活用したお話会などを日頃の授業に積極的に取り入れます。

児童・生徒の皆さんが素敵な本との出会いができるようサポートしてまいります。保護者の皆様におかれましては、御理解と御協力をお願いいたします。

読書推進月間担当 加瀬 愛



【別紙】鹿本版 台風や大雨による臨時休校等の判断基準(追加事項) 令和8年9月10日(暫定版)

近年多発する大型台風や線状降水帯による集中豪雨等に備え、児童生徒の安全確保を最優先とした「臨時休校および登校後判断の基準」を以下のとおり整理いたしました。特に、警戒レベル3の考え方が難しいです。豪雨が収束して警戒レベル2へ移行する場合、逆に警戒レベル3から4へ移行する場合など状況によって判断が全く違うものとなります。

そのため「暫定版」とし、東京都や江戸川区及び葛飾区の判断基準を参考にしながら、更新していきます

危険度・警戒レベル相当 「河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮」	避難行動 (該当の住民がとるべき行動)	臨時休校の判断基準 (積雪は別です) 令和8年6月23日	追加事項:登校後
災害切迫 「命の危険 直ちに安全確保」 5	災害が発生又は切迫。命の危険が迫っているため、直ちに身の安全を確保する	◎	臨時休校 学校待機 保護者は学校へ(子供達の実態・御家庭の状況によっては避難生活の準備持参)
危険 「危険な場所から全員避難」 4	危険な場所から避難が必要。避難指示がなくても、区の防災アプリや気象庁「キキクル」等で自ら避難を判断する	◎	臨時休校 学校待機 保護者は学校へ(子供達の実態・御家庭の状況によっては避難生活の準備持参)
警戒 「危険な場所から高齢者等(障害児・者含む)は避難」 3	高齢者等は危険な場所から避難。その他の人も行動を見合わせ、避難準備・自主判断を行う	○ または △	★自宅待機や避難の準備を推奨 臨時休校 ①警戒レベル3が二つ以上 ②警戒レベル3かつ「暴風警報」(暴風警報…強風による重大な災害が予測される時に発表される警報) ※あくまでも目安です。 ①②以外でも状況に応じて臨時休校となる可能性が非常に大きい。 左記の①②→学校待機が基本 ★警戒レベルの推移や区の状況及び発表時間帯等によっては、「緊急下校又は保護者迎え」とする一人通学の子供達は、一人では下校はさせない。(保護者迎えの可能性もある) ※学校の判断も難しい。あくまでも目安であることや、変更もあることを御理解ください
注意 「自らの避難行動を確認」 2	避難行動を確認。ハザードマップで危険区域、避難先、避難経路を確認する	×	通常登校 その他(レベルが2や1であっても) ★「公共交通機関の運転見合わせ」や浸水・冠水等により、「ほとんどの教職員の通勤困難」や「バス添乗員さん・調理員さんの配置困難」により学校運営が成り立たない場合は臨時休校 警戒レベルの推移等は注意を払うが、通常どおり
今後の情報に留意 (レベル1相当情報も確認) 「災害への心構えを高める」 1	最新の防災気象情報に留意し、災害への心構えを高める	×	通常どおり

判断に至るまで:一段階 ①周知:「半日前線状降水帯の発表等があれば情報提供 ②予告:臨時休校等を検討している場合の連絡(前日まで)③判断:当日朝6時※全て段階を踏むわけではなく状況に応じてです。(今後は①周知だけで終わるケースが増えていきます)

なお、「前日に判断し決定した方がよいか」(当日の警戒レベルが1〜3に下がったとしても臨時休校となる)または、これまでどおり「当日朝6時の判断とするか」を今後検討していきます。

【参考資料】 雨雲レーダーの雨の強さと被害のめやす

線状降水帯とは、発達した積乱雲が帯状に次々と発生して同じ場所に流れ込み、数時間にわたって猛烈な雨を降らせる現象です。短時間で浸水や河川氾濫の危険が急激に高まりますが事前に発生場所の特定が難しい。

雨雲レーダーの色	1時間雨量	気象庁より	どの程度の雨が(感じ方)	どの程度で浸水等の被害があるか(あくまでも目安)
紫	80mm以上	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる	排水能力の目安(約50mm/h)を大幅に超える。 短時間でも道路冠水、下水・マンホール等からのあふれ、地下・低地の浸水 が急速に進むおそれ。 河川氾濫にも要注意。
赤	50～80mm未満	非常に激しい雨	滝のように降り、傘は全く役に立たない	東京都区部の 基本的な下水道対応水準(50mm/h) を超える。50mm/h以上が数時間続くと 内水氾濫(降った雨が下水道や排水路で処理しきれず、住宅地等に浸水する現象)の可能性あり。低地・アンダーパス・地下空間は危険。
オレンジ	30～50mm未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降り道路が川のようになる	排水能力の目安に近づく強い雨。通常は直ちに広域浸水とは限らないが、短時間の集中、排水溝の詰まり、低地等の条件が重なると道路冠水や局地的浸水が起こり得る。
黄	20～30mm未満	強い雨	どしゃ降り。傘をさしていてもぬれる	排水能力の目安を下回るが、長時間続く雨や先行雨量が多い場合は水位が上がりやすい。くぼ地・アンダーパス・排水の悪い場所では水たまりや冠水の兆候に注意する。
緑	10～20mm未満	やや強い雨	ザーザーと降り、地面からの跳ね返りで足元がぬれる	一般には下水道で排水可能な範囲。ただし、落ち葉・ごみによる排水口の詰まりや局地的な雨の集中、河川水位の上昇時には気をつける。
青	5～10mm未満	気象庁の強さ区分外	本降りとして感じることもある	★参考にしてください 気象庁：雨雲の動き ・降水ナウキャスト(1時間先までの予測) ・「降水短時間予報」(3時間先までの予測) ・ウェザーニュースの雨雲レーダー(60時間先までの予測) ・区の防災アプリ・気象庁「キキクル」等
水色	1～5mm未満	気象庁の強さ区分外	弱い雨・しとしと、またはパラパラ降る	
薄い水色	0～1mm未満	気象庁の強さ区分外	ごく弱い雨、または雨粒を感じる程度	